

## 臨床研究に関する公開情報

2021年4月～2023年3月に整形外科に入院し、手術後に集中治療室へ入室され、リハビリテーションを行なった患者さんへ

### 研究議題名

ICU 管理を要した脊椎疾患患者に対する早期リハビリテーション治療が在院日数・歩行自立に与える影響

## 臨床研究のおしらせ

### 1. 研究について

目的：集中治療室管理となる重症症例に対して早期からのリハビリテーション治療は身体機能・ADL 再獲得に有効とされ、推奨されています。また手術後早期からのリハビリテーション治療・早期離床は術後合併症の予防や創傷治癒の促進、入院期間の短縮に効果があると言われてしています。

今回手術後に集中治療室へ入られた脊椎疾患術後患者に対する手術後早期からのリハビリテーション治療が在院日数・歩行自立に与える影響を明らかにするため検証を行います。

対象：2021年4月～2023年3月当院整形外科に入院し、術後集中治療室へ入室し、リハビリテーションを受けた患者さん

方法：該当する患者さんのカルテを拝見しデータを収集解析します。

研究期間：当院倫理委員会承認より1年間

取り扱う情報：診療記録、リハビリテーション科記録、要介護度

個人情報取り扱い：

- ・個人のプライバシー及び個人に関する情報は研究担当者が責任を持って匿名化し、院内で厳重に管理を行ないます。
- ・研究の成果は、学会や医学雑誌などに発表する予定ですが、その際にみなさんの名前や身元が明らかになることはありません。

・この研究は当院の臨床研究倫理審査委員会の承認を得ており、みなさんの権利が守られることが確認されています。

## 2. 有害事象および患者負担

- ・患者さんへの直接的な介入や侵襲はありませんので有害事象は起こりません。
- ・研究へのデータ提供による利益・不利益はありません。
- ・費用負担はありません。報酬が支払われることはありません。

## 3. 利益相反

開示すべき利益相反はありません。

もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合や、この研究計画にご質問がある場合は、随時下記研究担当者までご連絡ください。

### 研究機関情報

研究機関名：京都市立病院

研究責任者：リハビリテーション科部長 多田 弘史

研究担当者：リハビリテーション科 尾崎 紘平

電話 075-311-5311